

令和2年度 第2回茨城県高等学校産業教育生徒交流会 発表要旨

部会名	家庭部		
発表題名	みんな大好き龍ヶ崎 ～竜ヶ崎二高 My りゅうプロジェクト～		
学校名	県立竜ヶ崎第二高等学校		
生徒氏名 (学科・学年)	人間文化科 2年 福田 怜奈	人間文化科 2年 栗原 知華	
	人間文化科 2年 根本 萌音	人間文化科 2年 羽入 彩未	

I 題目設定の理由

本校学校家庭クラブは、龍ヶ崎市を中心とした地域の活性化をテーマに、龍ヶ崎コロッケや地元の特産品米の加工品である、米粉を使ったお菓子作りの開発を行ってきた。先輩方から研究を引き継いだ私達は、地域をもっと元気にしていくために、ただ商品開発をするだけでなく、若い世代の人達や、小さな子ども達にも、もっと地域に目を向け、関心を持ってもらうことが、大切だということに気付いた。そして、より商品力のある物を生み出し、いろいろな形で地元の人達と交流を持ち、地域活性化に貢献したいと思い、この題目を選んだ。

II 実施計画

- 1 これまでの活動と課題の把握
- 2 研究・実践活動 I
- 3 中間評価
- 4 研究・実践活動 II
- 5 評価と今後の課題

III 実施状況

- 1 これまでの活動と課題の把握
 - (1) 龍ヶ崎商工会が運営している「どらすて」との交流～「はんぺんコロッケ」の誕生～
 - (2) 横田農場の「田んぼの学校」での取り組み～「米粉のシフォンケーキ」の販売～
- 2 研究・実践活動 I
 - (1) はんぺんコロッケのレシピ開発から商品化に向けて
 - (2) 「田んぼの学校」での子どもたちとの交流
- 3 中間評価
- 4 研究・実践活動 II
 - (1) 龍ヶ崎商工会主催の「地域経済活性化事業」への参加
 - (2) 幼児向けに手作り絵本の作成・・・地元の子どもたちから世界の子どもたちへ
 - (3) 普及活動

IV 評価と今後の課題

2015年から始めた私たちの活動に、地元の方から、「頑張ってるね!」「美味しかったよ!」と声をかけてもらい、交流が深まっていくごとに私たちが逆に元気をもらっている。

地元龍ヶ崎が元気になるように、子ども達をはじめ、さまざまな方々と交流することから始めた活動が、全国大会等を通じて全国の方々との交流となり、絵本を通じてラオスをはじめ、世界を見つめる活動となってきた。現在は新型コロナウイルス感染拡大防止のため思うように活動できないが、収束後には、また、高校生ならではの発想で、我が町を活性化させていきたいと考えている。

はんぺんコロッケの開発



米粉のシフォンケーキの開発



田んぼの学校のボランティア

